

データ作成時にご注意いただくこと【Adobe Photoshop 編】

Adobe Photoshop でデータを作成する際にお読みください。

テンプレートについて

アクリルスタンド 90x150 以内 製品仕様：仕上がりサイズ：90×150mm 以内／台座サイズ：90×50mm 以内

acrylicstand-90x150_ps.psd(Photoshop 汎用テンプレート アートボード：193 x 215mm)

※アートボードは、注意事項等を含めた全体のサイズ表記となっています。実際はテンプレートの枠内でデザインを制作してください。

※Adobe Photoshop専用のテンプレートです。互換ソフトへのサポートは行っておりません。互換ソフトで使用される際は、使用者の責任の元、ソフトの「開く」メニューからファイルを開いてください。(互換ソフトによってはダブルクリックやアイコンへのドロップではファイルを開けない場合があります)

データ作成時のチェックポイント

<レイヤーパレットについて>

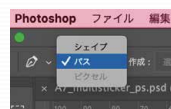


アタリレイヤー

仕上がりの目安になるアタリのレイヤーです。
ここには書き込み等をおこなわないでください。

カットパスレイヤー

ここにカットラインを「パスデータ」で作成してください。
※画面左上のツールモードを「パス」にするとパスデータで作成できます。



後白版レイヤー

カラー版のデザインを透けない仕上がりになりたい場合、ここに **K100% で白版データを作成**してください。Kの%を下げることで、グラデーションや半透明のデザインも可能です。
また、白版データは**カラー版よりマイナス0.1mmオフセット**してください。

カラー版レイヤー

絵柄のデザインはこのレイヤーで作成してください。
このレイヤー内のものはすべて印刷されます。
※このレイヤーに白版やカットラインのデータを入れないでください。
また、このレイヤーに「白」でデータを作成しても、白版データとして使うことはできません。

注意事項レイヤー

パーツに関する注意事項を記載しています。

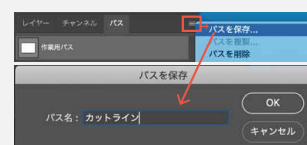
このレイヤーは入稿時に削除してください。

変更不可レイヤー

誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけられています。

<パスパレットについて>

カットパスレイヤー内にパスデータで作成すると、「作業用パス」として表示されます。
カットラインデータ完成後、「パスを保存」→パス名「カットライン」で保存してください。



<アクリルスタンド データ作成時の注意！>

本体



差込ツメ

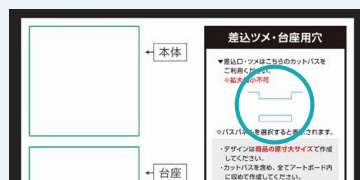
カットラインとデザインの間は2mm以上空けてください

※詳細はP2「カットラインについての注意」を合わせてご確認ください。



差込ツメ・台座用穴はデータをそのままご利用ください

テンプレート内にカットパスデータが予め用意してあります。
サイズ・形状変更不可。

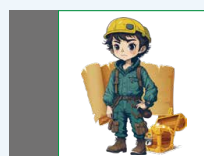


台座

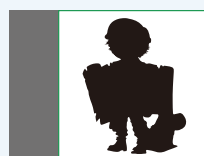


台座用穴

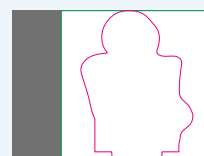
レイヤー内でそれぞれ必要なデータを作成してください



カラー版
すべてカラーで印刷されます



後白版
すべて白で印刷されます



カットパス
このデータの形でカットされます

カットラインについての注意

<デザインと仕上がりアタリ、推奨範囲、カットラインについて>



- ・必ず「カットパス」レイヤー内にパスデータで作成してください。カラー版内にデザインデータと一緒に作成されても、カットラインデータとして使用できません。
- ・カットライン作成後、パス名「カットライン」で保存してください。
- ・カットラインはできるだけ滑らかにしてください。鋭角や複雑な形状は加工できない場合があります。

○ 問題のないカットライン



✕ 問題のあるカットライン



ご入稿前に次ページの「データ入稿前のチェックポイント」を必ずご確認ください。

Photoshop データ入稿前のチェックポイント

□ 当社テンプレートを利用いただけていますか？

仕上がりサイズ、形状は会社によって異なります。必ず大洞印刷のテンプレートをご利用ください。

□ 不要オブジェクト、不要レイヤーは整理されていますか？

不要なレイヤーやオブジェクトは削除し、アタリ・カットパス・後白版・カラー版 4 レイヤーの構成としてください。

(「注意事項」レイヤーは入稿前に削除してください)

□ 文字レイヤー、効果のついたレイヤーはすべてラスタライズされていますか？

レイヤーパレットのサムネイルに [T] の表示がある文字レイヤーや、右端に [fx] の表示があるレイヤーは、カラー版レイヤーとそれらのレイヤーを複数選択し、「レイヤーを結合」でラスタライズしてください。

その際、データに化けが生じていないかを十分に確認してください。

□ 画像解像度は適正値ですか？

イメージ>画像解像度より、サイズが原寸で、解像度が 200dpi 以上（推奨 350dpi）あるかご確認ください。

□ カットパスレイヤー内のカットラインデータはパスデータで作成され、パスパレット内に「カットライン」という名前で保存されていますか？

カットライン作成時は、必ずツールモードが「パス」になっていることを確認して作成してください。

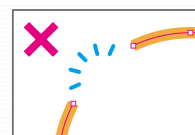
カットラインデータ完成後は、「パスの保存」で名前を「カットライン」で保存してください。

□ カットパスはクローズパスで作成されていますか？

カットパスはかならずクローズパスで作成してください。



クローズパス
(パスが閉じている)



オープンパス
(パスが閉じていない)

□ カットパスと絵柄の間は 2mm 以上空いていますか？

カットパスと絵柄の間が 2mm 以上空いているかご確認ください。

□ 差込ツメ・台座用穴はテンプレートデータをそのままご利用いただいていますか？

差込ツメ・台座用穴データはテンプレート内のカットパスを、変更せずそのままご利用ください。

Tips ツメの配置について

本体に取り付けるツメは、絵柄に対して左右対称になるように配置すると、台座と本体を差し込んだ際の安定性がより高まります。

1 本体データと結合するツメを用意します。

2 ツメをカットラインと重なるように置きます。
(※中心に来るように配置してください)

3 オプションバーの「パスの操作」から、「シェイプを結合」を選択、続けて「シェイプコンポーネントを結合」を選択します。

4 完成

